

「援助」から「支援」への子育て

子育て支援センターが開所し、支援活動を開始して3年目に入りました。支援センターは、開所したものの活動方針や内容の検討が未熟なままのスタートであり、保育士間に共通理解が形成されないまま試行錯誤の毎日でありました。最初の1年は、「子育て支援」とは何かを考

える基本は、「援助」と「支援」の違いを明確にすることでした。「援助」とはできないところを補強したり代替するために行う活動で、できないことに力を貸して助ける行為です。子どもを保育士が援助することですが、援助が全て悪いことではありません。「支援」とは子育てに自らの力が発揮できない状況から発

揮できるように支える行為です。子育て場面で設定し、親同士が集い、語り合い、親子のふれあいやプログラム化しても支援者である保育士の考え方によって内容や質は異なります。親がより良い子育てができるように保育士が手を添えていくという考え方がこれからの子育て支援に必要であると考えます。



2年目になって、保育士が子育て支援はどうあるべきかを考えるようになり、子育て支援の理解が深まりました。理解が深まることで、親が子どもの反応に自ら関わり、子どもとの一体感や相互作用を作り上げる営みが始まりました。今年度の子育て支援は、「援助」から「支援」に変わりつつあります。

9月7日の『遊びの教室』は、お母さんとお子さん合計32人が参加し、小さなポリバケツを利用した太鼓と片ダンボールでバチ作りをして太鼓をたたいて楽しみました。1歳未満の子は、お母さんとバチのみを作り、保育士が作った太鼓で楽しみました。お母さん方は「親子での制作を楽しみ、安全で楽しい活動でした。」と話していました。また、9月14日の『のびのび広場』では、「おじいちゃん、おばあちゃんありがとう」と感謝の意を表現した小物作りとどん作りを親子で楽しみました。子育てを応援するため、さらなる良い仕組みを作るように努めたいと考えます。

子育て支援センター所長

比企地区文化財めぐり

「松山城主上田氏ゆかりの地を歩く 東秩父村」

東秩父村の自然を満喫しながら、上田氏ゆかりの地を訪ね、中世の景観に触れ親しんでみませんか。

とき 11月15日(火) 午前9時30分～午後3時(予定)
コース 安戸地区から御堂地区の文化財を徒歩で巡る約6Km(当日、天候等の事情によりコース変更もあります。) 安戸橋河原(午前9時30集合・開会式)→安戸宿跡→山田氏屋敷跡・山田氏五輪塔群→安戸城跡→千部供養板碑(大霊神社)→和紙の里(見学・昼食)→浄蓮寺(上田氏菩提寺)→ふれあい広場(解散式:午後3時予定)

携行品 ウォーキング可能な服装、弁当、雨具、その他必要と思われるもの

定員 20名(参加費無料・雨天決行)

主催 比企地区文化財振興協議会

その他 東秩父村公民館講座「歴史探訪講座4」との合同になります。

申込 10月28日(金)までに東秩父村教育委員会へお申し込みください。 ☎82-1230

ご存知ですか 「行政相談週間」

—10月17日(月)～23日(日)—

この週間は、行政相談制度を国民の皆さまに利用していただくため、関係行事を全国的に実施しています。当村でも、行政相談所を開設して、相談をお受けしています。

日時 10月17日(月)午後1時～3時
場所 役場1階 中会議室

相談内容 福祉、道路、医療、保健、年金など
 ※上記以外でも、毎月定例相談所を開設しています。また、行政相談委員は自宅でも相談を受け付けております。当村の行政相談委員は田中丈偉氏(☎82-0612)です。

◆行政苦情110番

☎0570-090110